

情報通信技術を活用した生産方式

～ オーダーメイドで自分に合わせた製品を ～

オーダーメイドと言えば、かつては衣服や靴などのサイズを店で測り、自分に合った製品を注文できるサービスでしたが、インターネットや情報技術の普及により様々な製品にオーダーメイドの仕組みが利用可能になってきました。

【①オリジナルデザインをかたちにする】

身近なものとして、学校祭などのイベントで使うデザイン T シャツがあげられるでしょう。自分たちの好みのデザインを作成して、メールなどインターネットを経由してデータを送るだけで、自分たちオリジナルの T シャツを作ることができます。他にも、スマートフォンのカバーもあります。



【②組み合わせを選択してかたちにする】

チロルチョコは、インターネットでチョコレートと包装デザインを、875 種類の組み合わせから選択できるようにしました。自分でデザインして、親しい人にプレゼントするためのオリジナル製品を作ることができるのです。

【③3D 技術を駆使したイメージを、グローバルな体制でかたちにする】

リクルートは、オーダーメイドシャツのオンラインショップ『Bluem sarto (ブルームサルト)』の運営を始めました。アメリカのブルーフレーム社の3D のデザインシステムを導入し、3D 画像で仕上がりをイメージしながらデザインできるので、思い通りのシャツを簡単に、そしてスピーディーに作ることができます。

実際に受注するのはアメリカのブルーフレーム社で、生地は全てヨーロッパの綿 100%の生地を使い、そして製造は中国の上海で行います。注文から約 2 週間で自宅に届く生産体制を構築しています。



資料番号：1-13-2

出所：ラスタバナナ <http://www.rastabanana.com/>

チロルチョコ <https://www.my-tirol.com/>

リクルート <http://www.recruit.jp/>